病院の真のパートナーとしてのSPDシステム
～病院の働き方改革とDXに貢献する「JITSシステム」～

エム・シー・ヘルスケアホールディングス株式会社 常務執行役員CIO兼中国事業推進室長
エム・シー・ヘルスケア株式会社 取締役 武内昌平

エム・シー・ヘルスケア株式会社
https://mc-healthcare.co.jp

エム・シー・ヘルスケア株式会社（以下、当社）はSPD（Supply Process and Distribution）専門事業会社として、三菱商事社内のプロジェクトを経て、1995年に当社の前身である株式会社日本ホスピタルサービスの設立以降、約27年間にわたり全国145施設（2023年3月末現在）の急性期病院を中心にSPD業務を提供している。当社は商社の得意なIT、物流を活用した課題解決事業として、病院の物品管理を通じて「顧客病院の立場」で病院スタッフの業務負担の軽減と物品購買コストの低減を実現する「病院の真のパートナー」となるべく取り組んでいる。

当社JITSシステムの特徴

SPDは医療業界の中で既に一般用語として定着しており、全国の病院の多くは何らかのSPDを導入しているSPD導入は、現場の医療・事務スタッフの物品管理業務の効率化に大きく寄与した。

当社のSPD専門システム「JITS（Just In Time & Stockless）システム」（図1）は、当社のサービス提供ツールとして開発された。顧客病院は、当社へSPD業務を外部委託することで、自前でシステムを調達・運用することなく物品管理が行える仕組みである。また、JITSシステムは全国統一基盤で稼働するシステムであり、複数の病院が同一のシステムを利用することができる。このため、当社はシステムに対する大規模投資ができる上に、利用病院が増えるほど1病院あたりのシステムコスト相当額を下げられるというメリットを有する。

JITSシステムの特徴及び価値は、以下の5つである。

①膨大な物品マスタの集中管理による緻密な物品管理
②外部委託・院外SPD方式による病院の働き方改革への貢献
③物品調達業務のDX化代行による調達価格の適正化
④災害時の物品確保・供給による病院事業継続支援
⑤信頼性の高いシステム稼働基盤

当社はこれらの特徴により、1病院で導入する物品管理システムを超越する機能とメリットを顧客病院に提供してきた。以下にその概要を記す。

1．膨大な物品マスタの集中管理による緻密な物品管理

医療材料物品管理業務で最大の課題は、採用物品の迅速かつ正確な物品マスタ管理である。JITSシステムでは、全国統一基盤の一部として物品マスタを専門部署で自社の「全国統一物品コード」として一元化・集中管理化している。既に約80万件の統一物品コードを保有し、毎月約1000件の新規物品登録を行っている。常に迅速かつ正確な物品マスタ管理を行うことにより、緻密で漏れの無い安心される物品管理を実現している。

2．外部委託・院外SPD方式による病院の働き方改革への貢献

当社は物品管理業務のコスト低減を追求する中で規模拡大と集中化を推進しており、より多くの病院のSPDを受注することで、より大きな効率化効果が得られる全国統一システムとインフラを構築した。すなわち、複数病院のSPD業務を院外に設置した当社のSPD物流センターに集約して集中処理することにより、単独の病院では実現できないレベルの効率性を実現している。

当社では145のSPD契約病院に対し、全国で約1500人以上のパート社員が、毎日SPD業務を提供している。病院の医療スタッフが従来担っていた膨大な業務を、当社で集中的に代行していることになる。

また、当社は「カイゼンは企業文化」を合言葉に、常に更なる改善・効率化を追求している。倉庫内業務においては、昨年からシステムの大幅な改修を伴う手順変更や、機械が得意な業務の自動化・ロボット化等、現行人員体制でより多くのSPD運用を効率的に行う仕組みづくりを進めている。医療スタッフが作業時間を低減し、本来の業務である患者に向き合う時間を増やす「働き方改革」に大きく寄与するとともに、継続的業務効率化を進め、サステナブルなSPDサービスの提供に取り組んでいる。

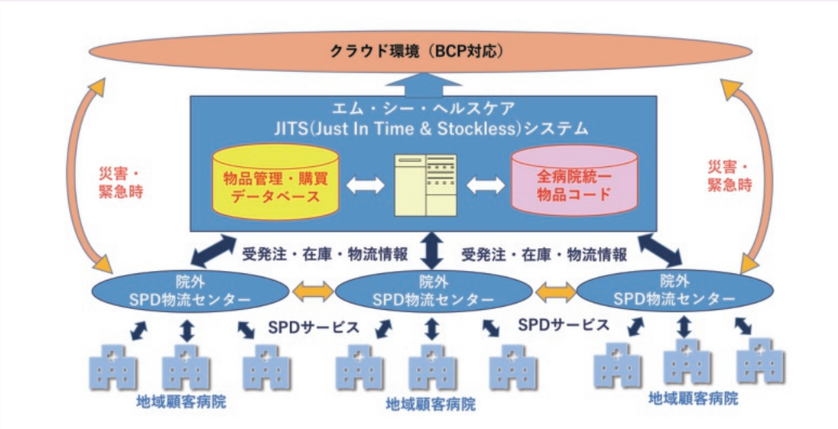

図1 JITSシステムの全国統一基盤

3．物品調達業務のDX化代行による調達価格の適正化

当社のSPDの最大の特徴は、調達価格の適正化である。従来より顧客病院からニーズが最も高い要望が「調達価格の低減」であった。全国統一基盤によるJITSシステム運用により、当社には鮮度と精度の高い実際の購買データが蓄積されており、顧客病院間の価格を比較するデータベースを構築することで病院間の価格差を明らかにした。

さらに当社では顧客病院と共同で病院間の同種同効品の集約や院外倉庫で複数病院の調達を集約して規模を活かした価格交渉を行い、顧客病院向けに適正価格での調達を実現してきた。従来の感覚的な価格交渉ではなくデータベースを活用した科学的な価格交渉を実現しており、顧客病院の医療材料調達業務におけるDX化を代行している。

4．災害時の物品確保・供給による病院事業継続支援

日本では毎年のように局地的自然災害が発生し、被災地の病院への物品供給が課題となる事例が発生している。JITSシステムは全国の在庫情報を一元管理しており、被災地で必要な物品がどこにあるか判断でき、被災地近隣の当社SPD物流センターから物品供給を継続する体制が構築されている。

業務面においても、システム停止や大規模災害発生時を想定したBCP対応マニュアルを作成し、人的対応による災害対応訓練を実施している。このため、東日本大震災をはじめ、熊本地震、西日本豪雨や北海道胆振東部地震、コロナ禍等、多くの非常時に継続して物品供給することにより、顧客病院の事業継続性を支援した。これは、JITSシステムの全国統一基盤と、全国各地に拠点があるからこそ対応できた事例である。

5．信頼性の高いシステム稼動基盤

SPDは病院の診療に必要な物品の供給を担っており、JITSシステムは業務が停止することなく安定的に稼働することが要求される。当社は三菱商事の連結子会社であり、三菱商事と同等の内部統制管理及びBCP対策を行っている。システム面、業務面の両面からトラブルを未然に防ぎ、高い信頼性と業務品質を提供する業務システムとなっている。JITSシステムのサーバーは、災害に強い強固なデータセンターで管理している。また万が一、データセンターで障害が発生した場合でも、クラウドに全国データをバックアップしており、切り替え運用ができる環境も整えている。

病院の真のパートナーとしてサステナブルなサービスを提供

SPDは既に病院経営に無くてはならない経営ツールであり、病院の働き方改革の中でSPDの外部委託の流れは更に加速すると思われる。当社のSPD及びJITSシステムは、規模と集中化による効率化実現のために全国統一基盤を整えてきた。これにより当社は、1病院単独では実現できない効果を提供するとともに、更なるSPD業務外部委託化の受け皿になることでより一層、効率化・ローコスト化を進めることができると考えている。

当社はSPD以外にも顧客病院のニーズをもとに共同購入の事務局業務や、手術室・カテ室業務、医療材料以外の働き方改革・DXを支援する「コトセラ」等、病院のパートナーとしてのサービス開発を継続している。今後も当社の特徴あるSPDサービスの提供を通し、顧客病院の働き方改革を支えるとともに、病院の真のパートナーとしてDX時代の病院のニーズに対応していきたい。